

2024年9月期(第22期)

第2四半期

決算説明補足資料

アイビーシー株式会社

証券コード 3920

2024年5月13日



# AGENDA

- 1 第2四半期(累計)連結決算概要
- 2 トピックス
- 3 今後の展望
- Appendix

1

# 第2四半期(累計) 連結決算概要



## ● 第2四半期連結決算概要

(単位：百万円)

	23/9期 第2四半期 連結累計期間	24/9期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	858	<b>974</b>	+13.5%
売上総利益	608	<b>673</b>	+10.8%
販売管理費	505	<b>539</b>	+6.6%
営業利益 (利益率)	102 (12.0%)	<b>134</b> (13.8%)	+31.1%
経常利益	116	<b>144</b>	+24.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	79*	<b>11</b>	△85.1%

■ お客様へのサポート強化やパートナーとのビジネス連携強化により、ライセンス販売、サービス提供、その他物販とも伸長し、前年同期比で売上高、営業利益/経常利益ともに拡大。

\* 当期純利益は、当社が保有する投資有価証券の売却損131百万円を計上したことにより前年同期比減。

# ● 第2四半期決算売上内訳（単体）1/2

## 第2四半期単独売上918百万円は対前年比14.1%伸長

### ライセンスの販売

「SystemAnswer」をご利用いただいているお客様およびパートナー様との連携強化により、**ライセンスの更新が増加**（ライセンス更新率95%）

### サービスの提供

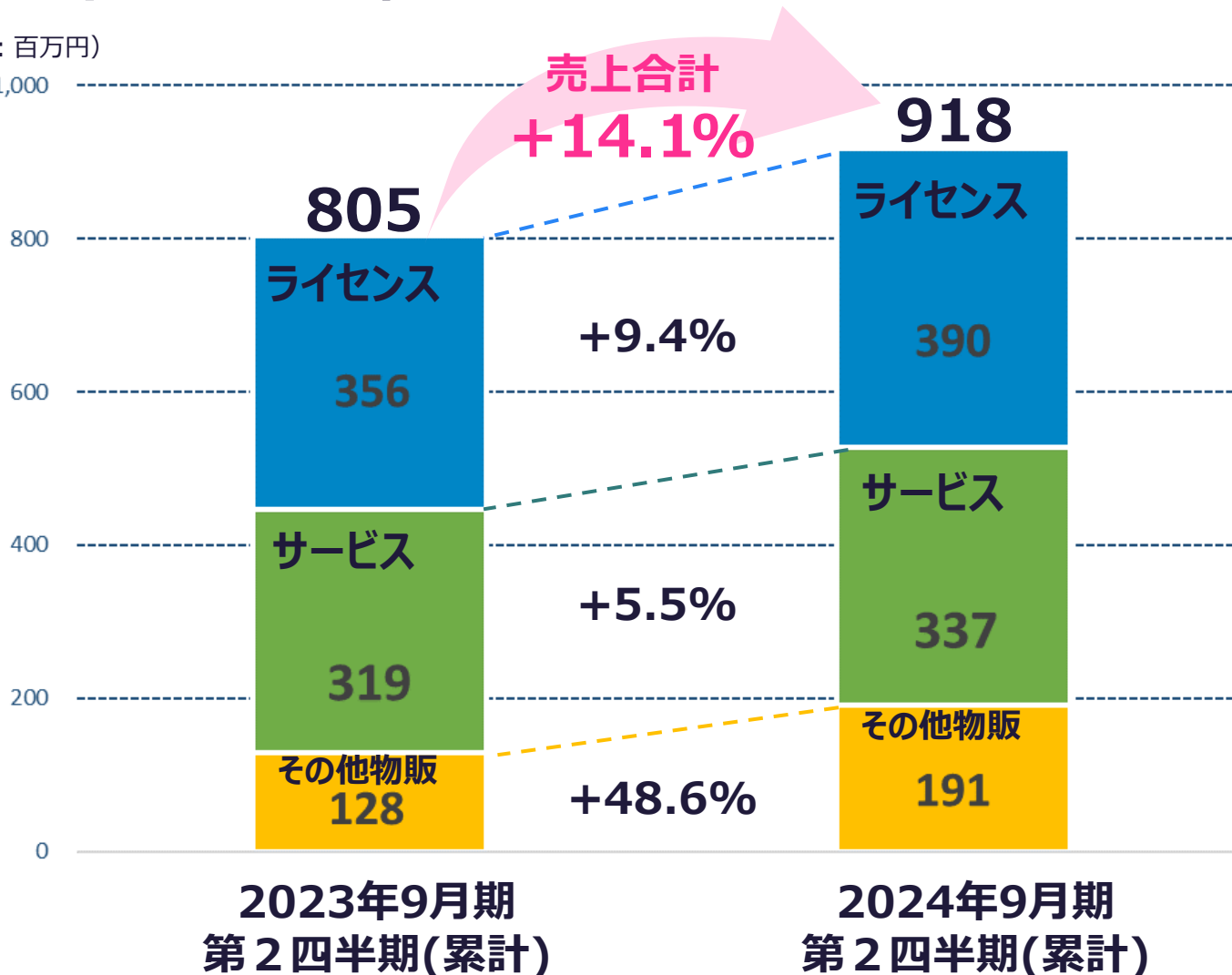
次世代MSPサービス「SAMS」が重要インフラシステムを支えるサービスとしてご採用いただく機会が増えたことにより**堅調に推移**。

### その他物販等

お客様**インフラ全般に関する課題への対応**や**ネットワークインテグレーションビジネスの拡大**に伴って物販売上が大きく増加。

(単位：百万円)

1,000



# ● 第22期 第2四半期決算売上内訳（単体） 2/2

(単位：百万円)

## <フロー/ストックの内訳>

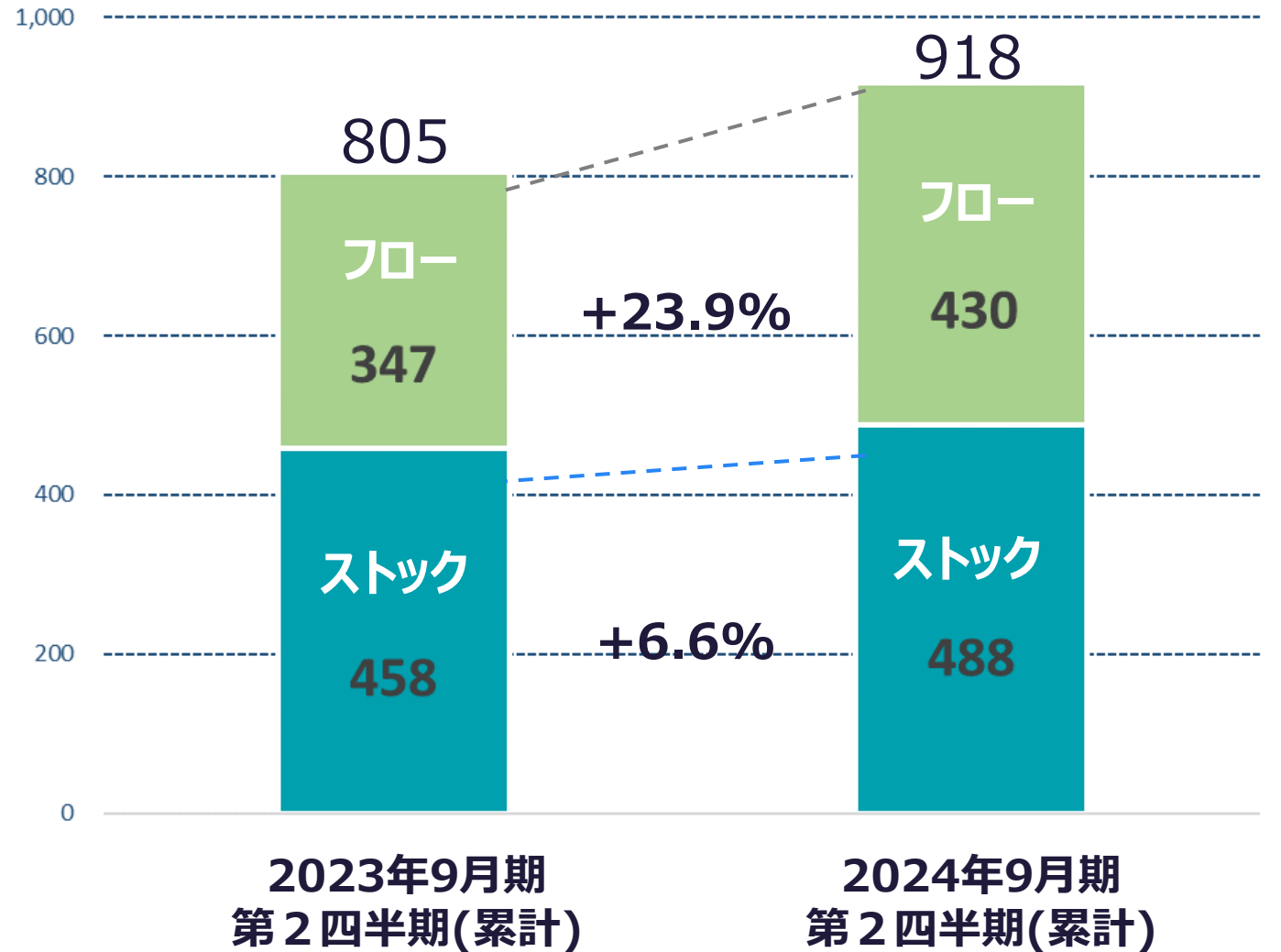
- **ストック**売上の増加（前期比+6.6%）に伴い経営の安定化

### フロー

初期設定作業等、次年度更新がない今期だけの売上

### ストック

ライセンス販売や保守等、次年度以降も更新売上が見込まれる売上



# ● 連結貸借対象表

(単位：百万円)

	23/9期 期末連結	24/9期 第2四半期末連結	前期差額
流動資産	2,332	2,290	△ 41
（内、現金及び預金）	1,621	1,613	△ 7
固定資産	931	721	△ 210
資産合計	3,264	3,012	△ 251
流動負債	1,378	1,223	△ 155
固定負債	57	8	△ 49
負債合計	1,436	1,231	△ 204
株主資本	1,772	1,751	△ 21
その他	54	29	△ 25
純資産合計	1,827	1,780	△ 46
負債純資産合計	3,264	3,012	△ 251

- 資産：その他流動資産132百万円増加した一方、売掛金185百万円及び投資有価証券252百万円の減少
- 負債：未払法人税58百万円、その他流動負債123百万円の減少
- 純資産：その他有価証券評価差額金25百万円、利益剰余金21百万円の減少

# ● 連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	23/9期 第2四半期末連結	24/9期 第2四半期末連結	前年同期比差額
営業キャッシュ・フロー	195	162	△32
投資キャッシュ・フロー	△20	△79	△59
財務キャッシュ・フロー	△81	△90	△9
現預金残高	1,499	1,613	+114

- 営業キャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益減少、売上債権の増加及び法人税支払額の増加によるものです。
- 投資キャッシュ・フローは、投資有価証券の取得及び保険積立金の支出によるものです。
- 財務キャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び配当金支払の支出によるものです。



2

第22期  
トピックス



## ① 「IT障害をゼロにする」ための商品強化

- IBC Careサービス提供開始
- CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション Windows対応エージェントをリリース
- セキュリティ分野でのサポート領域拡大

## ② Interop Tokyo 2024 出展 / ShowNet 参加

## ③ ホームページの強化と効果



## ④ CSR活動の強化

- ワークライフバランスの推進
- 障がい者の自立支援活動への協力

## ● IBC Care サービス提供開始 (2024年1月～)

FW / UTM の脆弱性に対する早期対応により、  
企業の情報資産を守り、IT障害をゼロにする運用  
を実現するサービス

障害の切分け支援から機器保守、脆弱性対応まで、  
アイビーシーがお客様に代わり対応

 問合せ窓口対応	 保守管理	 ライセンス更新	 障害調査	 代替機手配
 脆弱性対応	 コンフィグ管理	注目 アイビーシーならではのメニュー UTM 管理で最も重要な項目！		



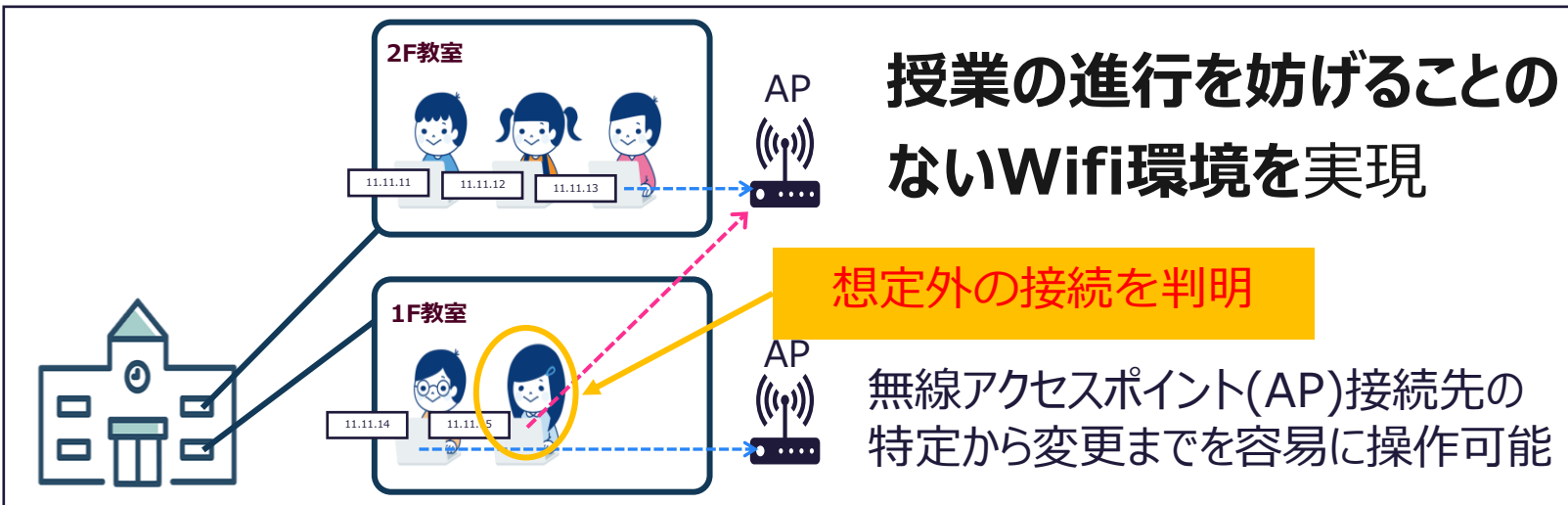
# ①「IT障害をゼロにする」ための商品強化-2

## ● CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション Windows対応エージェントをリリース（2024年2月5日～）

System Answer G3 の「CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション」に新たに Windows 版エージェントを提供

これまでのネットワークパス表示機能・ページロード機能に加え、無線環境の利用状況を可視化し管理できる「Wifi監視機能」を追加

### 活用事例 – GIGA スクール –



# ● セキュリティ分野でのサポート領域拡大

お客様の求めるレベルのセキュリティ対策を、より手厚く、一気通貫でご支援可能になりました。

	攻撃前の対策	境界でのブロック	横展開の検知	発生時の対応	調査
サポート領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>脆弱性診断</li> <li>ファイアウォールログ解析</li> <li>公開情報管理</li> <li>脆弱性管理</li> <li>コンフィグ管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ファイアウォール等</li> <li>クラウド型 WAF</li> <li>WAF 自動運用</li> </ul> <p>第22期に拡大した項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるまい検知</li> <li>次世代アンチウイルス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EDR</li> <li>初動対応</li> <li>パッチ適用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォレンジックサービス</li> <li>ログ調査</li> <li>OSINT調査</li> <li>セキュリティリスク分析</li> </ul>
	ソリューション	<p>IBC-SAS</p> <p>tenable</p> <p>IT障害119サービス</p> <p>IBC Care</p>	<p>IBC-Integration</p> <p>攻撃遮断くん</p> <p>Waf Charm</p>	<p>Progress ADS</p> <p>Flowmon</p> <p>CROWDSTRIKE</p> <p>Falcon Prevent : NGAV (New Generation Anti Virus)</p>	<p>CROWDSTRIKE</p> <p>Falcon Insight : EDR (Endpoint Detection and Response)</p> <p>IT障害119サービス</p> <p>IBC Care</p>

2024年6月12日(水)～ 14日(金)に幕張メッセで開催される  
Interop Tokyo 2024に出展

### <展示の目玉>

- ・CX監視オプション Windows エージェント版 (Wifi監視機能)
- ・IBC Care サービス

### <会場内ネットワークを監視・構築するプロジェクト 「ShowNet」に参加>

- ・System Answer G3 で ShowNet NOC環境の統合監視を実現
- ・アイビーシーの社員は、STM (ShowNet Team Member) として、  
巨大なネットワークの構築に貢献

ShowNet  
2022  
監視実績

674  
ホスト

108,323  
監視項目



# ● ホームページの強化と効果

デジタルマーケティングの領域を強化し、お客様へ IBC の活動を訴求

## <主な強化ポイント>

### ■「デジマケ女子部」の活動を note に展開

- ・社内の出来事から製品・ソリューション紹介まで、週3回のペースで更新
- ・アイビーシーを深く知っていただいたり、就活中の学生さんにアイビーシーを知っていただく情報を提供

### ■ パートナー企業様向けサイトの開設

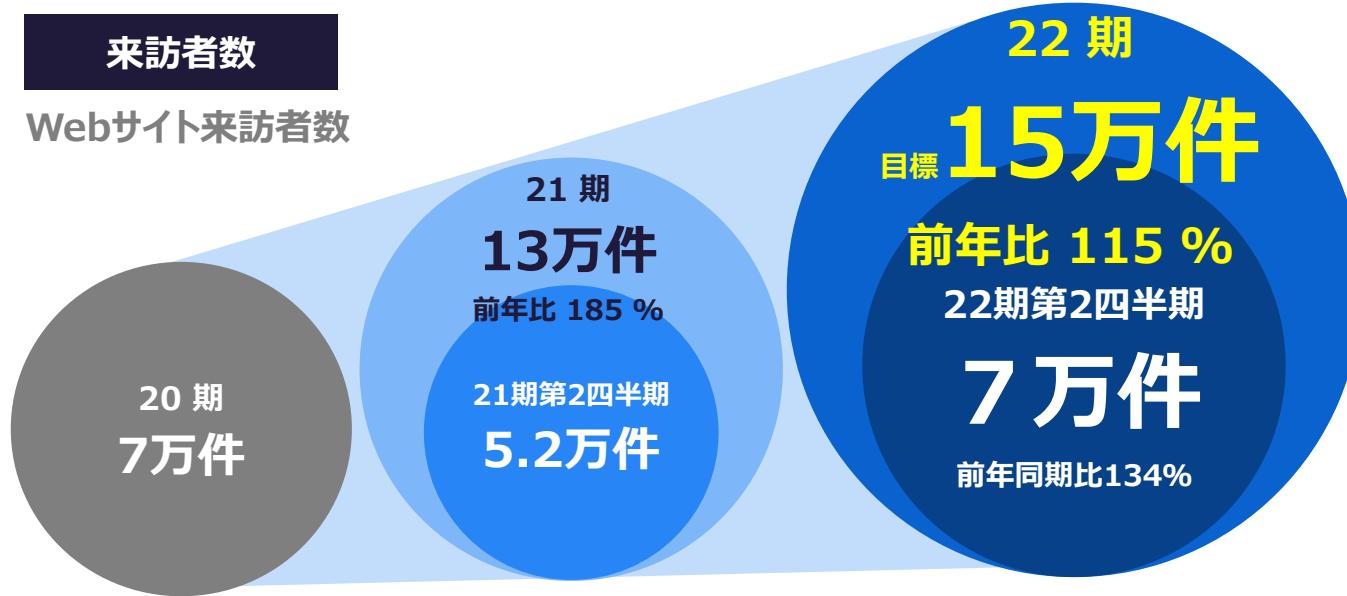
- ・2023年10月より、パートナー企業様が System Answerや取扱ソリューションの拡販に必要な情報や資料を集約したサイトを開設。
- ・今後見積自動取得機能等、機能拡張を行うことにより、パートナー企業様へのサポートを拡大



# ● ホームページの強化と効果

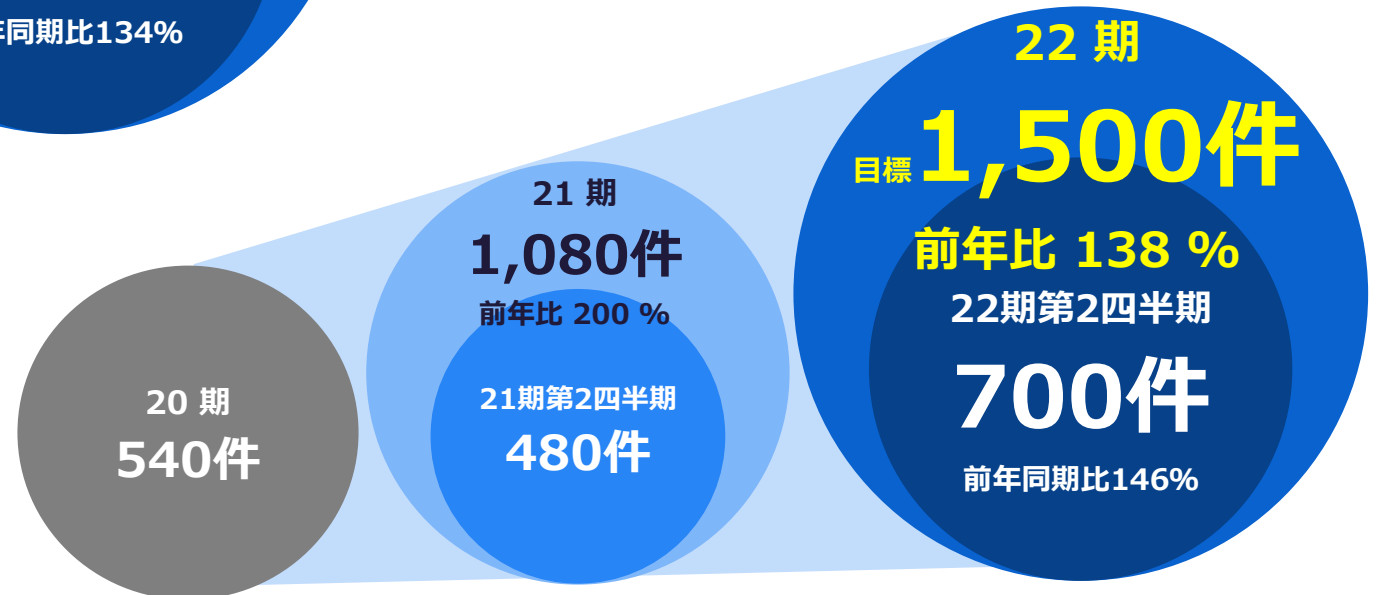
## 来訪者数

Webサイト来訪者数



## コンバージョン数

資料 DL / 問い合わせ数





## ● ワークライフバランスの推進

従業員がイキイキとメリハリのある働き方のできる職場づくりを目指して、厚生労働省の「プラチナくるみん認定」を2年後に取得することを目標とし、取得に向けた「両立支援のひろば」への行動計画を公表。

21期の  
具体的  
活動

### 時短勤務の適用拡大

3歳  
まで

年齢の  
制限を  
撤廃

女性社員の  
産休・育休取得/職場復帰率

100%

22期  
の計画

### 男性の育児に関する 休暇取得推進

- ・看護休暇の有休化
- ・学校行事参加休暇の検討



全従業員の  
残業時間の削減

- ・フレキシブルな働き方実現のための制度検討
- ・有給取得推進日の設定



## ④ CSR活動の強化

### ● 障がい者の自立支援活動への協力

『障がい者に月収10万円を』という目標を掲げる就労支援B型事務所「AlonAlon オーキッドガーデン」は、贈答用胡蝶蘭の栽培事業を展開しています。  
購入されたお花の代金は、この施設で働く障害を持った方々の所得となります。



アイビーシーはこの取り組みに賛同し、働く障害者のQOL(Quality Of Life)向上と施設入所者の拡大のために出資を行いました。

株主の皆様のご大切な方へのお祝いの際も、AlonAlonで社会貢献のできるお花を贈ってみてはいかがでしょうか？



3

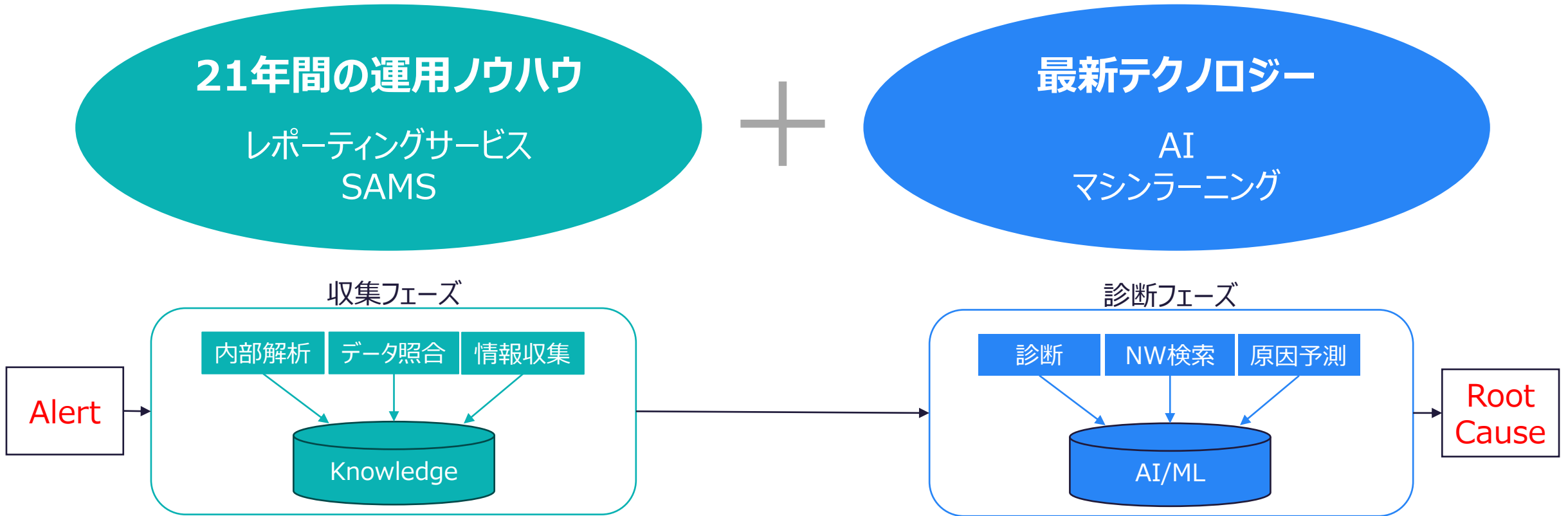
# 第22期 今後の展望



# ● IT障害ゼロを目指す新たな取り組み - AIを活用した故障個所推定 -

障害は、単純な問題から様々な事象が複雑に絡まり起こる場合があります。

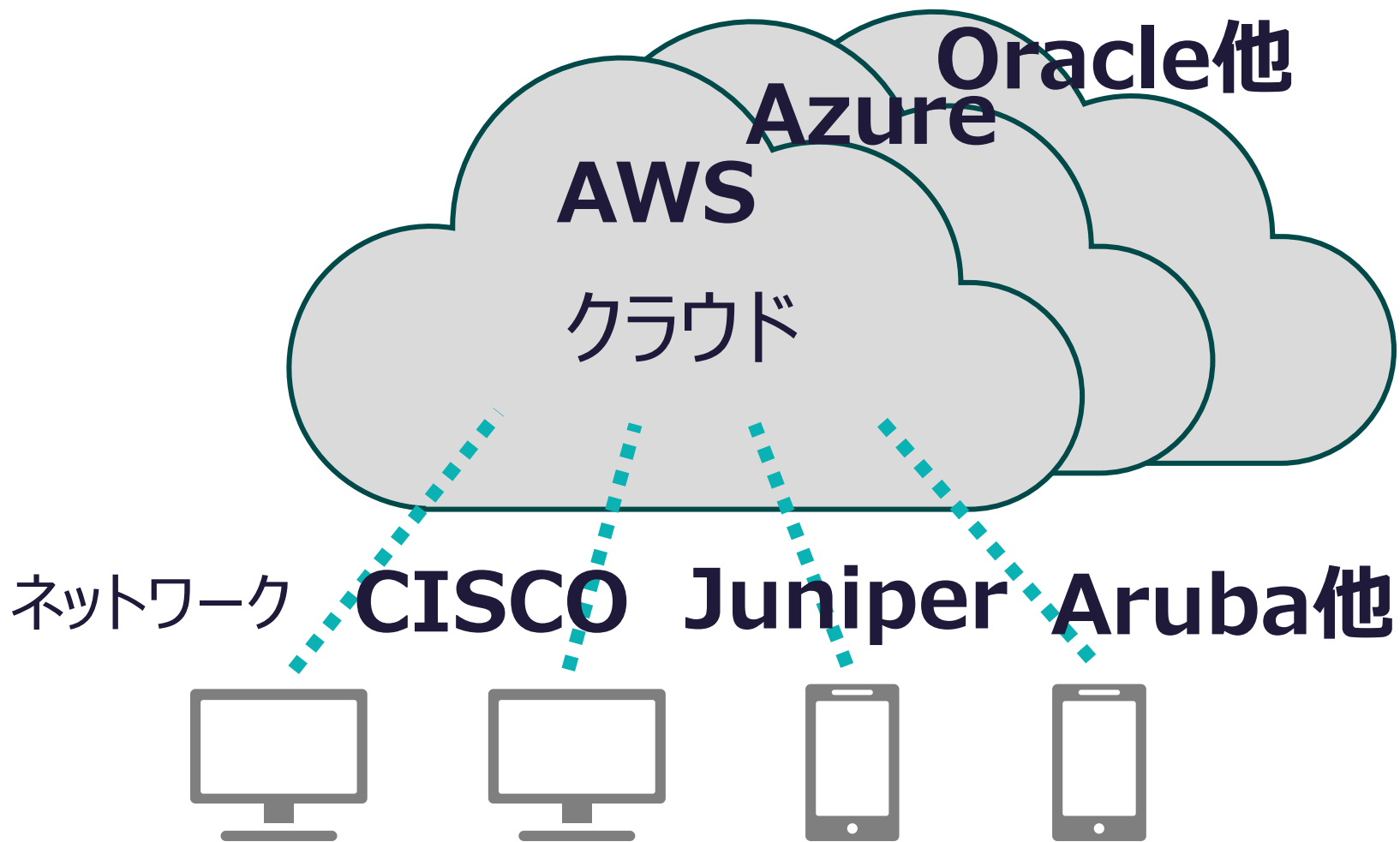
アイビーシーでは、**21年間蓄積した運用ノウハウ**と**最新のテクノロジー（AIやマシンラーニング）**を活用して、故障個所の推定をおこなう技術を研究開発しています。



出来るだけ早い時期に商品としてリリースできるよう尽力してまいりますので、ご期待ください。

# ● 人材育成

ネットワークスキル、クラウドスキルの強化に向けて、教育予算として500万円を投資して参ります。



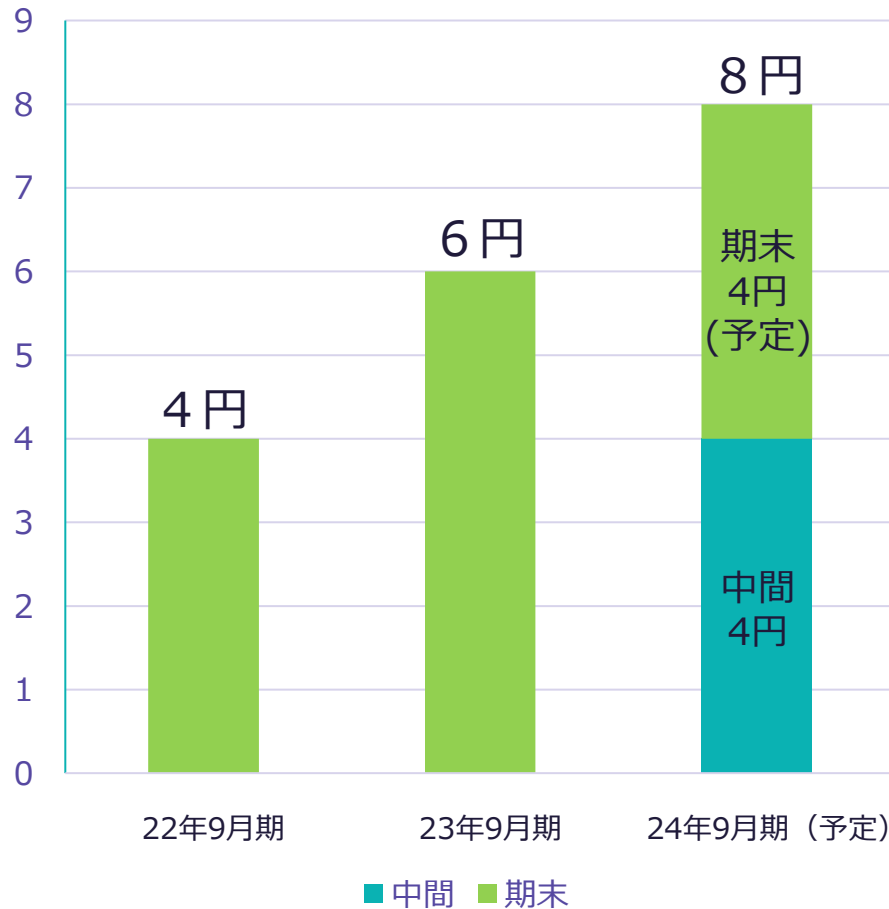
# ● 通期連結予想

(単位：百万円)

	通期業連結績予想 修正前	通期連結業績予想 修正後	前回比	前年同期比
売上高	2,000	<b>2,100</b>	+5.0%	+10.5%
営業利益 (利益率)	220 (11.2%)	<b>360</b> <b>(17.1%)</b>	+63.6% (+5.9%)	+69.6% (+5.9%)
経常利益 (利益率)	243 (11.2%)	<b>390</b> <b>(18.5%)</b>	+60.5% (+7.3%)	+66.6% (+6.2%)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (利益率)	166 (11.2%)	<b>175</b> <b>(8.3%)</b>	+5.4% (△2.9%)	+148.7% (+4.6%)
配当金	8.0円	<b>8.0円</b>	±0円	+2円

- 「System Answer シリーズ」のライセンス販売による事業拡大、ITシステムインフラのコンサルティングやソリューションサービスの提供、さらにマーケットの変化に対応したサービスを積極的に展開することで事業領域の拡大を着実に図るとともに、パートナー経由での大型商談により前年同期比、前回予想より増収。
- 利益は、ライセンスの売上増による利益増に加え、「SystemAnswer」の機能強化費および中途採用費用増等はあるものの、引き続き販管費全体の抑制に取り組むことで、前回予想を上方修正。

直近3年間の1株あたりの配当金額



- 2022年9月期は、創立20周年記念として、1株あたり4円の配当を実施
- 2023年9月期は、2円増配しまして、1株あたり6円の配当を実施
- 2024年9月期は、中間と期末の年2回配当および2円の増配とし、1株あたり中間配当4円、期末配当4円の年間8円配当を予定

今後も持続的な利益成長に応じて、株主の皆様へ利益還元の機会を充実させる方針です。

# Appendix





# ● 会社概要

## MISSION

# IT 障害をゼロにする

## VISION

# IT 活用で永続的に成長し、 事業・社会へ貢献する

■ イメージキャラクター：小泉今日子



社名	アイビーシー株式会社 IBC : Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
所在地	【本社】 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル8F 【西日本事業所】 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル3F
上場区分	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3920）
設立	2002年10月16日
資本金	443,230 千円 (2023年9月30日現在)
代表者	代表取締役 加藤 裕之
事業内容	1) IT システム性能監視ツールの開発 / 販売 / サポート 2) IT システムの性能評価サービス 3) IT システムの設計・構築、コンサルティング 4) IoT 電子証明セキュリティ基盤の開発 / 提供 5) 各種機器、ソフト販売





## ミッション、ビジョンの実現に向けて

### 技術と成長領域に関する展開

これまで培ってきた予兆検知・情報管理・将来予測のノウハウを活かし、AIやデータナリティクスの領域にも手を広げ、あらゆるデータを組み合わせてIT障害を未然に防ぎます。お客様に求められる製品・サービスを展開していくため、パッケージソフトウェアのSaaS化を進めてまいります。

### DXに関する展開

ソフトウェアライセンス販売による1,000社以上の導入実績の顧客基盤をもとに、DX支援（ネットワークインテグレーション、クラウドインテグレーション、システムインテグレーション、コンサルティング）のサービスを拡充してまいります。

### 運用サービスに関する展開

System Answer シリーズのSaaS型モデルである「SAMS」のプラットフォームをより拡大させ、お客様のセキュリティ管理やコスト管理に対する課題にも取り組んでまいります。



(100%子会社)



(持分法適用関連会社)

# ● 株式会社サンデーアーツ（100%子会社）



2019年4月に簡易株式交換により完全子会社化  
最先テクノロジーによるシステム開発を行っている

ブロックチェーン開発事業

AI開発事業

RPA開発事業

ソフトウェア開発事業

システムエンジニアリングサービス（SES）事業

パッケージソフトウェア開発、販売事業



AI、IoT等の先端技術を活用した研究開発・サービスを創出

**出資先概要**

- ◆ 設立 2019年4月1日
- ◆ 代表者 黄川田 英隆
- ◆ 資本金 資本金100百万円
- ◆ 親会社 株式会社NSD本社（代表取締役社長 今城 義和、東証プライム市場）
- ◆ 2019年4月25日出資
- ◆ 議決権所有割合（20%）の持分法適用関連会社 非常勤役員1名派遣

## お問い合わせ窓口

### 本社

〒 104-0033  
東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル 8F  
TEL : 03-5117-2780 FAX : 03-5117-2781

### 西日本事業所

〒 532-0003  
大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル 3F  
TEL : 06-7653-1014 FAX : 050-3473-4160

### URL

コーポレートサイト → <https://www.abc21.co.jp/>  
ソリューションサイト → <https://system-answer.com/>

## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。

## 本資料に関するお問い合わせ

アイビーシー株式会社 コーポレートサービス統括部  
TEL:03-5117-2780  
<https://www.abc21.co.jp/contact/ir/>